

砂と暮らし
砂に学ぶ
ITP
だより

16

シリア北西部、トルコ国境に近い丘陵地では、雨による土壌浸食(水食)が大きな問題となつていきます。水食とは、強い雨が降ったときに土壌表面を流れる水(地表流)によって、土壌が削りとられる現象です。

農家は土壌浸食が深刻な問題であると認識しています。しかしその対策には費用がかかる上、対策をとってもすぐには作物収穫量の増加が見込めないことから、これまで土



農家が施工した石積みによる土壌浸食防止工。斜面を流れる雨(地表流)によって運ばれた土砂を、石積みでせき止めて土壌浸食を防止する。地表流によって溝状に削られた土砂が、石積みの手前に堆積(たいせき)している

土壌浸食とその対策

壤保全対策は十分ではありませんでした。

そつした中、UNDP(国連開発計画)による土壌浸食防止プロジェクトが現在実施されています。この事業の目的は、資金援助によって、農家自身が土壌浸食防止の対策を行うことにあります。農家が主体となつて問題解決を図ることで、知識や技術が周辺地域にスムーズに浸透・普及していくことが期待されます。

この事業の一環で、私は土壌浸食量の推定と、石積みによる浸食防止効果の評価を研究テーマに活動しており、大きなやりがいと幸せを感じています。

(鳥取大学大学院農学研究科学生・酒井裕和)

(水曜日に掲載)